

6 男女平等

6 - 1 男女平等に対する関心度（問 23）

男女平等について7割が関心を持っている

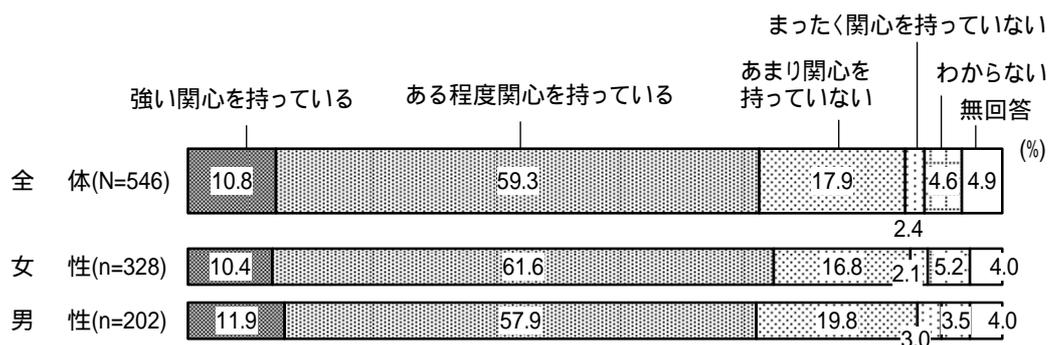
男女平等に対する関心をたずねた。

全体では、「強い関心を持っている（10.8%）」と「ある程度関心を持っている（59.3%）」をあわせた《関心層》は70.1%である。「あまり関心を持っていない（17.9%）」と「まったく関心をもっていない（2.4%）」をあわせた《無関心層》は20.3%である。

性別にみると、「強い関心を持っている」は、女性が10.4%、男性が11.9%であり、「ある程度関心を持っている」を合計した《関心層》は、女性が72.0%、男性が69.8%となっている。（図表

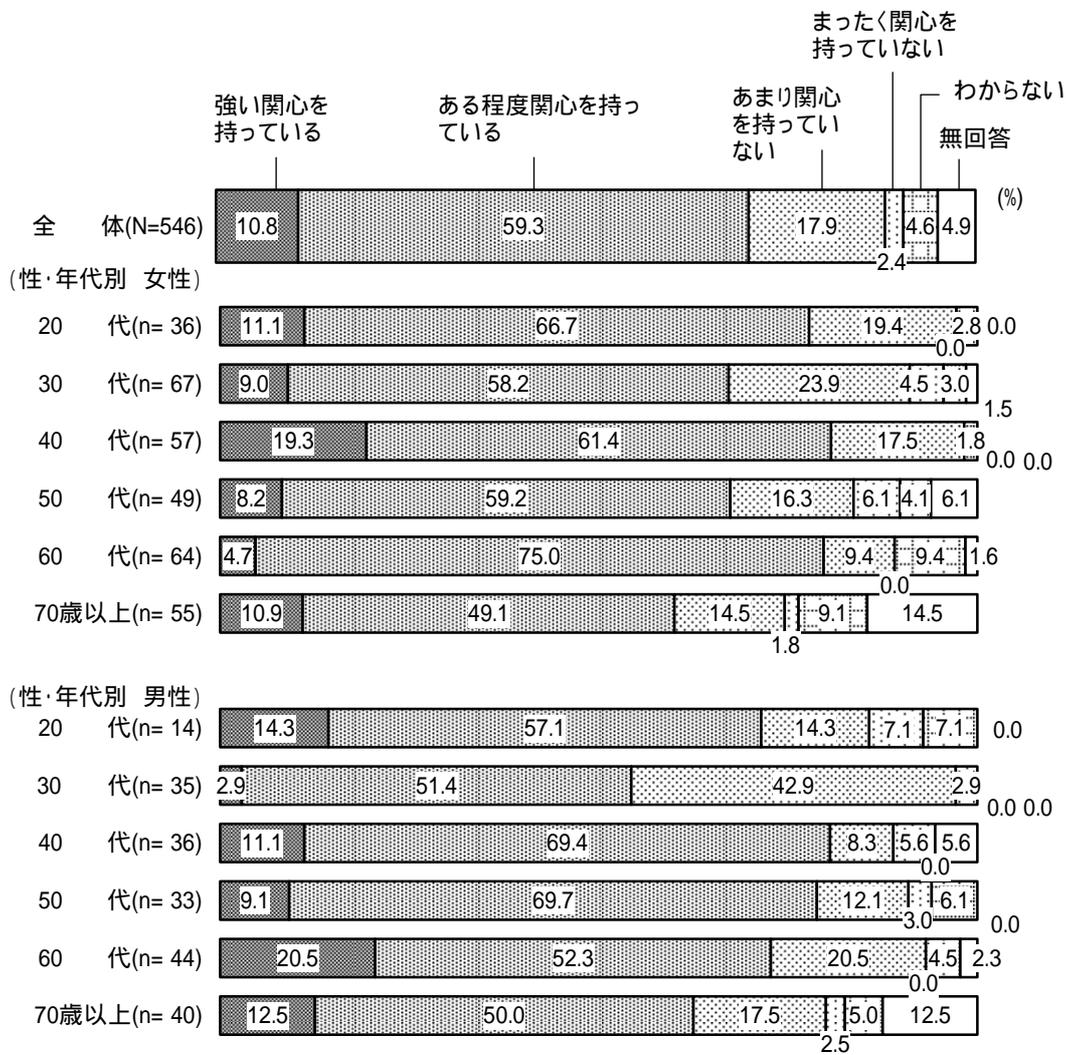
6 1 - ）

図表 - 6 - 1 - 男女平等に対する関心度（全体、性別）



性・年代別にみると、男女ともに 40 代では《関心層》が 8 割を超え多くなっている。一方、男性の 30 代では《関心層 (54.3%)》が 5 割台であり低くなっている。(図表 - 6 - 1 -)

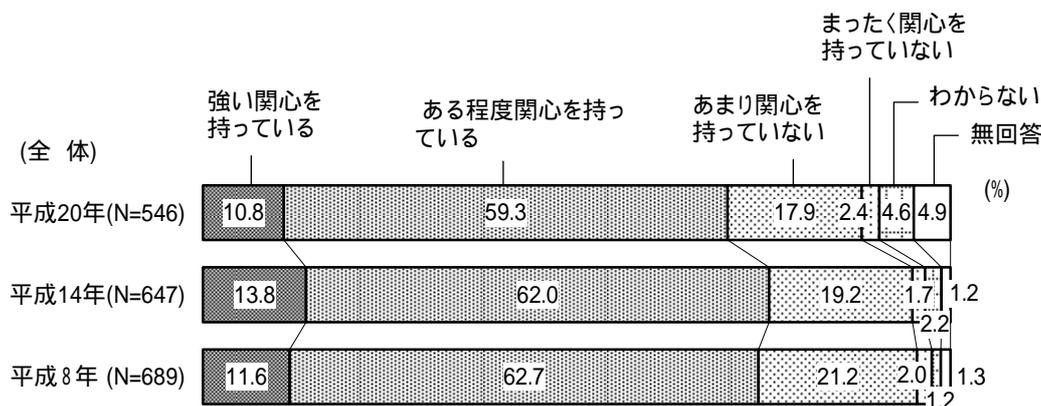
図表 - 6 - 1 - 男女平等に対する関心度 (全体、性・年代別)



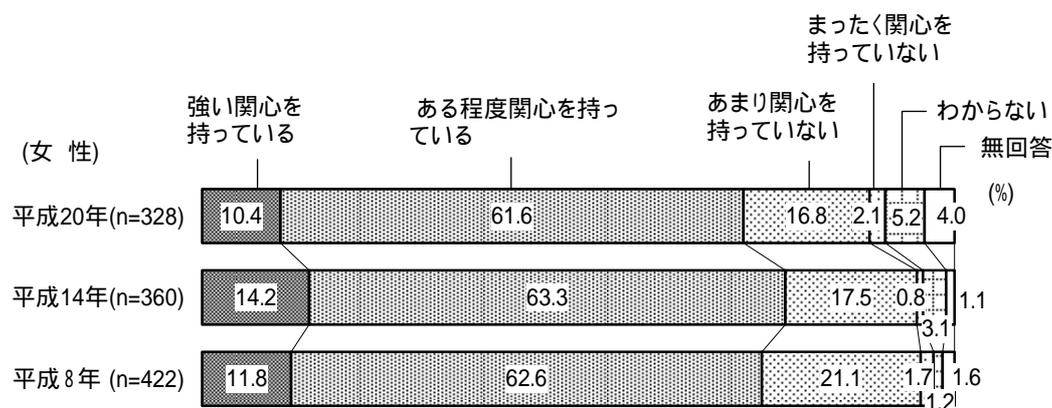
< 以前の調査との比較 >

今回調査を平成14年調査と比較すると、全体、男女ともに《関心層》が低くなっている。

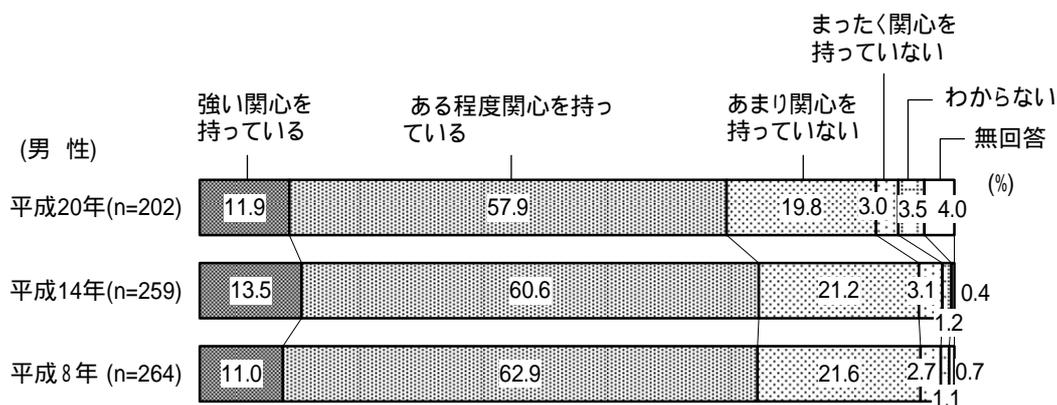
図表 - 6 - 1 - 男女平等に対する関心度（全体）



図表 - 6 - 1 - 男女平等に対する関心度（女性）



図表 - 6 - 1 - 男女平等に対する関心度（男性）



6 - 2 武蔵野市の施策の認知度（問 24）

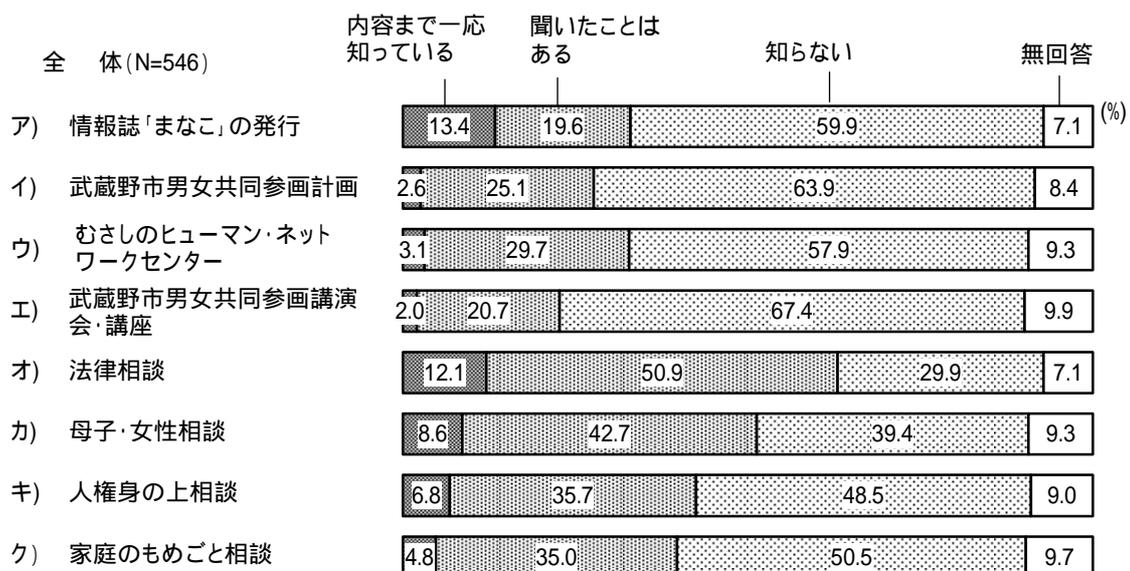
法律相談や母子・女性相談など、相談事業の認知度が高い

武蔵野市の施策や男女共同参画に関する事柄について知っているかどうかたずねた。「内容まで一応知っている」と「聞いたことはある」を合わせた《認知状況》から、認知度をみる。

武蔵野市の施策についてみると、全体では『法律相談（63.0%）』の《認知状況》が最も高く、『母子・女性相談（51.3%）』、『人権身の上相談（42.5%）』、『家庭のもめごと相談（39.8%）』、『情報誌「まなこ」の発行（33.0%）』、『むさしのヒューマン・ネットワークセンター（32.8%）』、『武蔵野市男女共同参画計画（27.7%）』、『武蔵野市男女共同参画講演会・講座（22.7%）』が続いている。

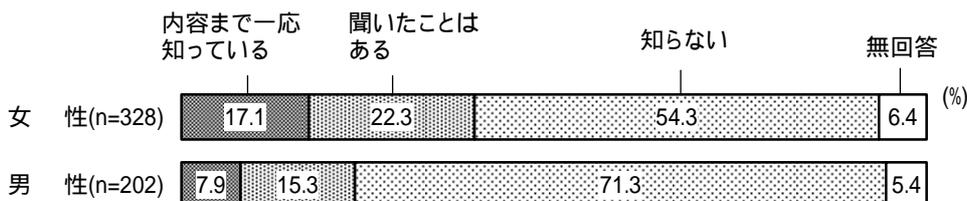
（図表 - 6 - 2 - ）

図表 - 6 - 2 - 武蔵野市の施策の認知度（全体）



『情報誌「まなこ」の発行』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が39.4%、男性が23.2%となっている。「内容まで一応知っている」は女性(17.1%)が男性(7.9%)を9.2ポイント上回り、《認知状況》は女性(39.4%)が男性(23.2%)を16.2ポイント上回っている。(図表 - 6 - 2 -)

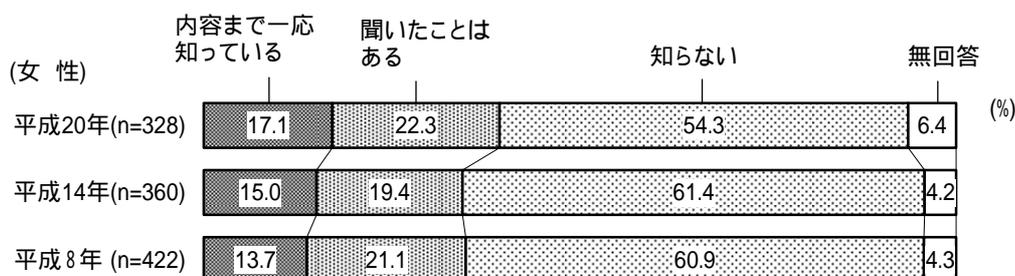
図表 - 6 - 2 - 『情報誌「まなこ」の発行』の認知度(性別)



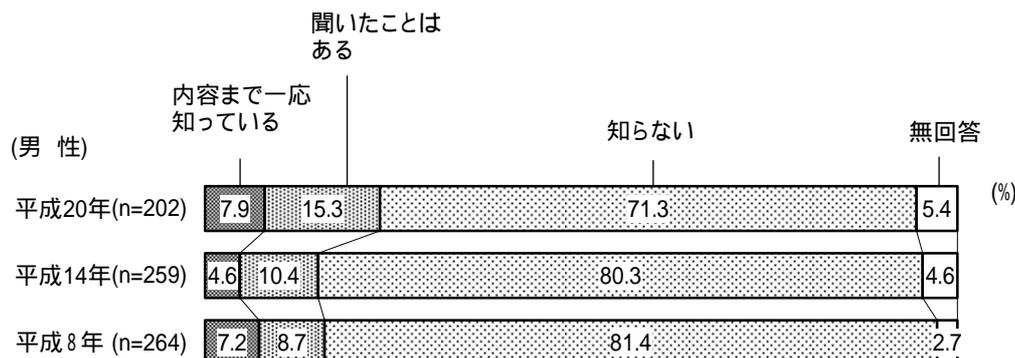
< 以前の調査との比較 >

今回調査を平成14年調査と比較すると、男女ともに《認知状況》が高くなっている。今回調査の「聞いたことはある」は、平成8年、平成14年調査では「名称くらいは知っている」である。

図表 - 6 - 2 - 『情報誌「まなこ」の発行』の認知度(女性)

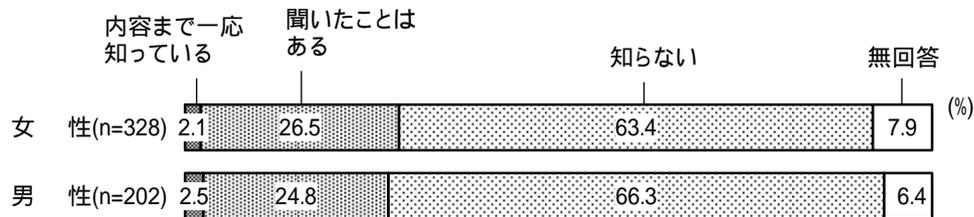


図表 - 6 - 2 - 『情報誌「まなこ」の発行』の認知度(男性)



『武蔵野市男女共同参画計画』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が28.6%、男性が27.3%となっており、《認知状況》に大きな差はない。(図表 - 6 - 2 -)

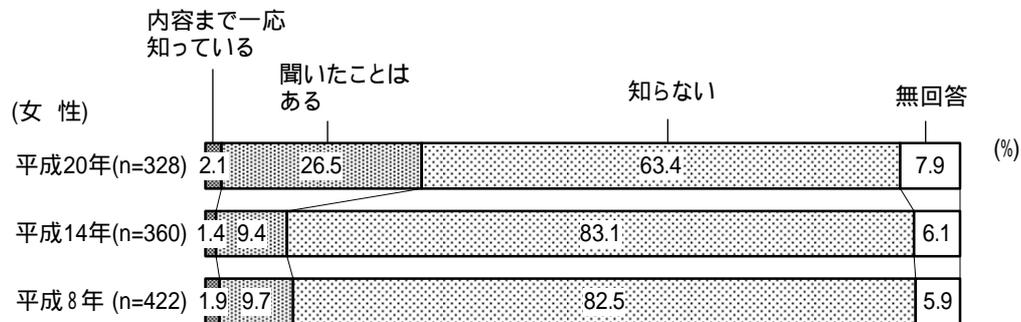
図表 - 6 - 2 - 『武蔵野市男女共同参画計画』の認知度(性別)



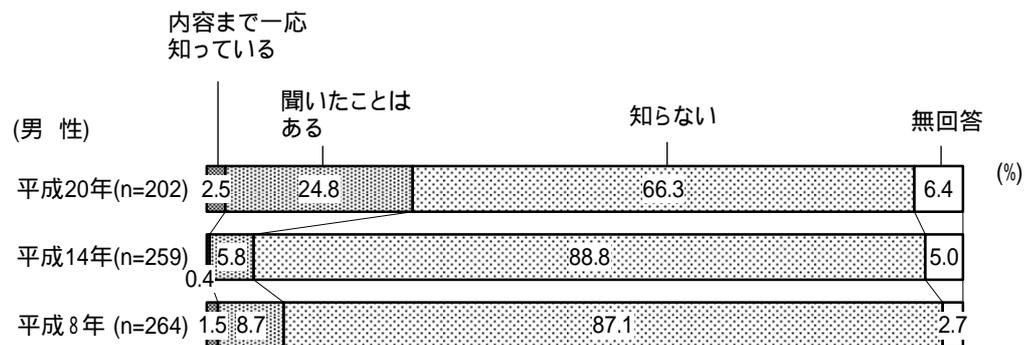
< 以前の調査との比較 >

今回調査を平成14年調査と比較すると、男女ともに《認知状況》が高くなっている。平成14年調査、平成8年調査は『女性行動計画』の認知状況をたずねている。今回調査の「聞いたことはある」は、平成8年、平成14年調査では「名称くらいは知っている」である。

図表 - 6 - 2 - 『女性行動計画』の認知度(女性)

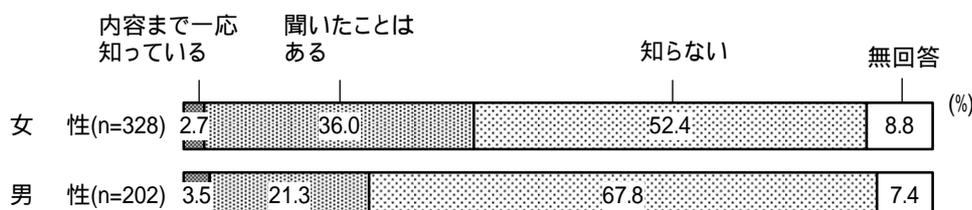


図表 - 6 - 2 - 『女性行動計画』の認知度(男性)



『むさしのヒューマン・ネットワークセンター』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が38.7%、男性が24.8%となっており、女性が男性を13.9ポイント上回っている。(図表 - 6 - 2 -)

図表 - 6 - 2 - 『むさしのヒューマン・ネットワークセンター』の認知度(性別)

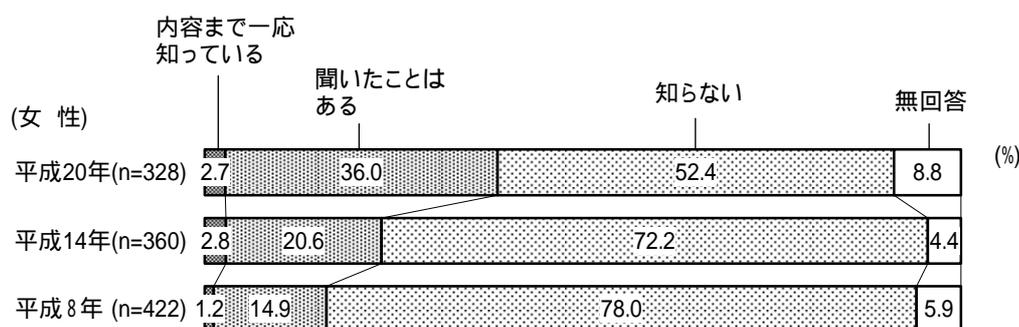


< 以前の調査との比較 >

今回調査を平成14年調査と比較すると、男女ともに《認知状況》が高くなっている。平成14年調査、平成8年調査は『ヒューマン・プラザ/むさしのヒューマン・ネットワークセンター』の認知状況をたずねている。今回調査の「聞いたことはある」は、平成8年、平成14年調査では「名称くらいは知っている」である。

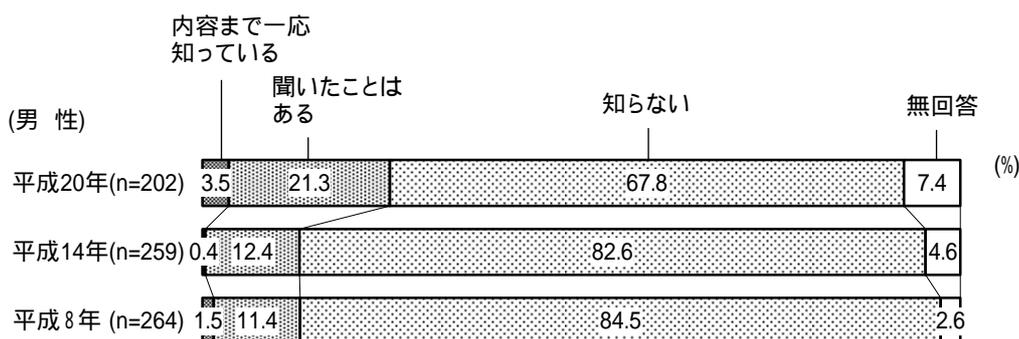
図表 - 6 - 2 -

『むさしのヒューマン・ネットワークセンター』の認知度(女性)



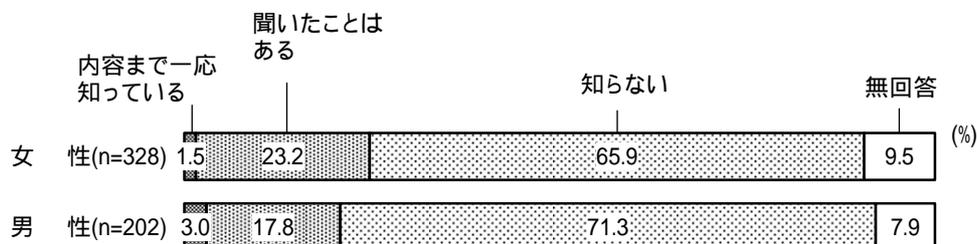
図表 - 6 - 2 -

『むさしのヒューマン・ネットワークセンター』の認知度(男性)



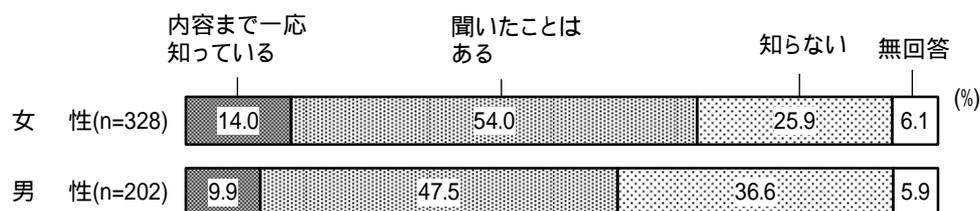
『武蔵野市男女共同参画講演会・講座』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が24.7%、男性が20.8%となっており、女性が男性を3.9ポイント上回っている。(図表 - 6 - 2 -)

図表 - 6 - 2 - 『武蔵野市男女共同参画講演会・講座』の認知度(性別)



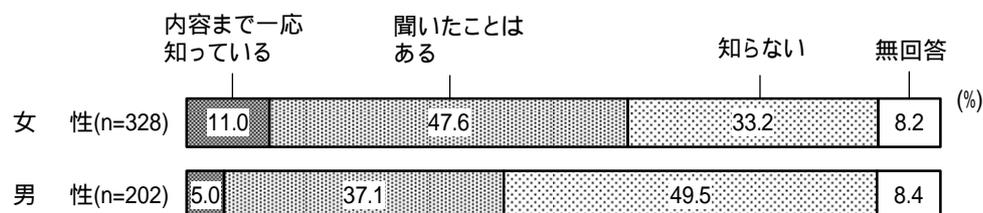
『法律相談』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が68.0%、男性が57.4%となっており、女性が男性を10.6ポイント上回っている。(図表 - 6 - 2 -)

図表 - 6 - 2 - 『法律相談』の認知度(性別)



『母子・女性相談』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が58.6%、男性が42.1%となっており、女性が男性を16.5ポイント上回っている。(図表 - 6 - 2 -)

図表 - 6 - 2 - 『母子・女性相談』の認知度(性別)



『人権身の上相談』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が45.4%、男性が40.1%となっており、女性が男性を5.3ポイント上回っている。(図表 - 6 - 2 -)

図表 - 6 - 2 - 『人権身の上相談』の認知度(性別)



『家庭のもめごと相談』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が43.3%、男性が36.2%となっており、女性が男性を7.1ポイント上回っている。(図表 - 6 - 2 -)

図表 - 6 - 2 - 『家庭のもめごと相談』の認知度(性別)



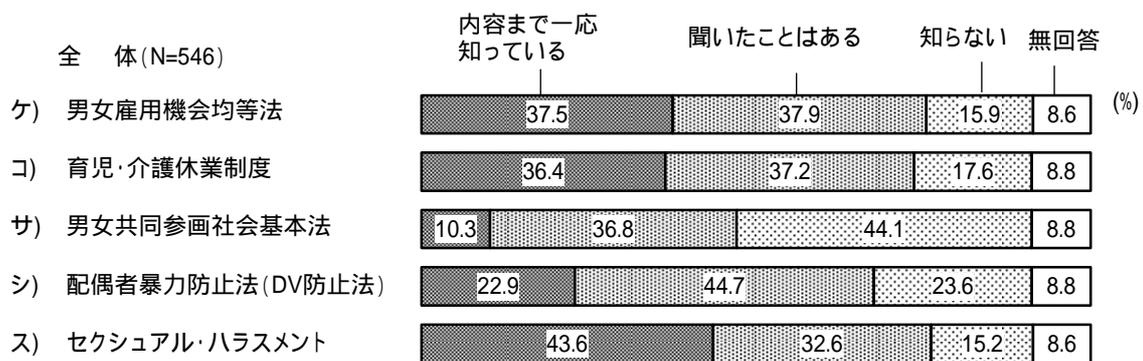
6 - 3 男女共同参画に関することがらの認知度（問 24）

男女雇用機会均等法、育児・介護休業制度、セクシュアル・ハラスメントは7割が知っている

男女共同参画に関することがらについて知っているかどうかたずねた。「内容まで一応知っている」と「聞いたことはある」を合わせた《認知状況》から、認知度をみる。

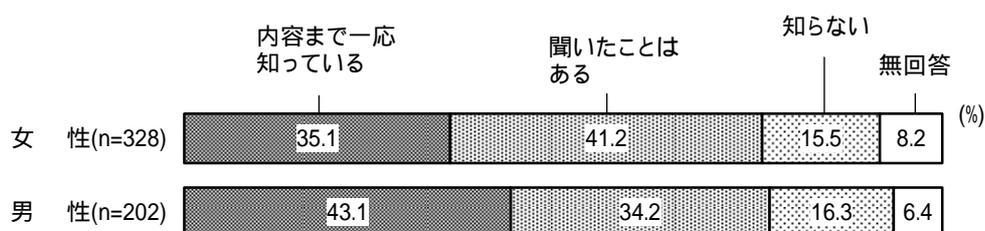
男女共同参画に関することがらについてみると、全体では『セクシュアル・ハラスメント（76.2%）』の《認知状況》が最も高く、『男女雇用機会均等法（75.4%）』、『育児・介護休業制度（73.6%）』、『配偶者暴力防止法（67.6%）』、『男女共同参画社会基本法（47.1%）』が続いている。（図表 - 6 - 3 - ）

図表 - 6 - 3 - 男女共同参画に関することがらの認知度（全体）



『男女雇用機会均等法』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が76.3%、男性が77.3%となっている。「内容まで一応知っている」は男性（43.1%）が女性（35.1%）を8.0ポイント上回っている。（図表 - 6 - 3 - ）

図表 - 6 - 3 - 『男女雇用機会均等法』の認知度（性別）

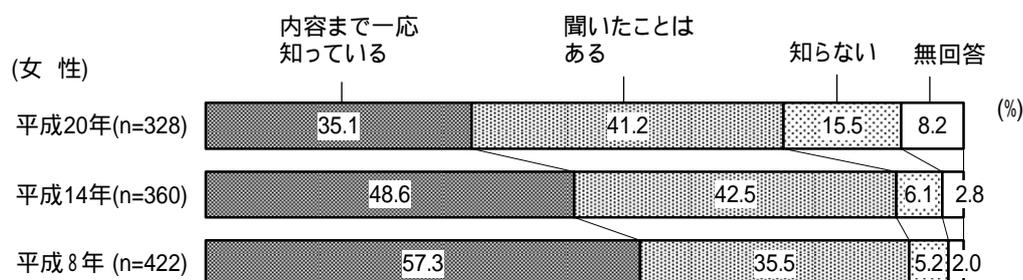


< 以前の調査との比較 >

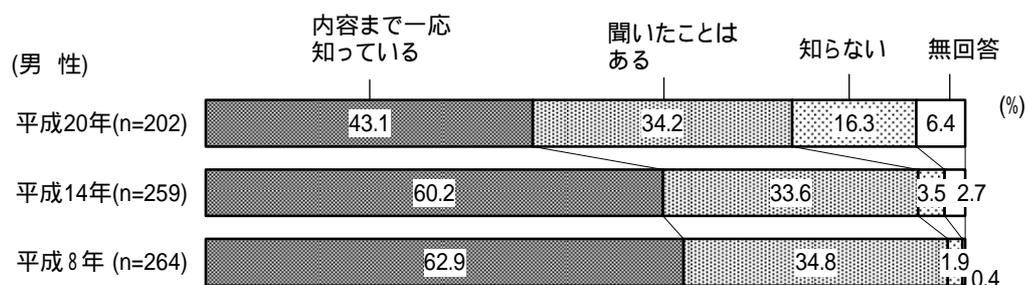
男女ともに平成8年調査から《認知状況》は徐々に低くなっている。

今回調査の「聞いたことはある」は、平成8年、平成14年調査では「名称くらいは知っている」である。

図表 - 6 - 3 - 『男女雇用機会均等法』の認知度（女性）

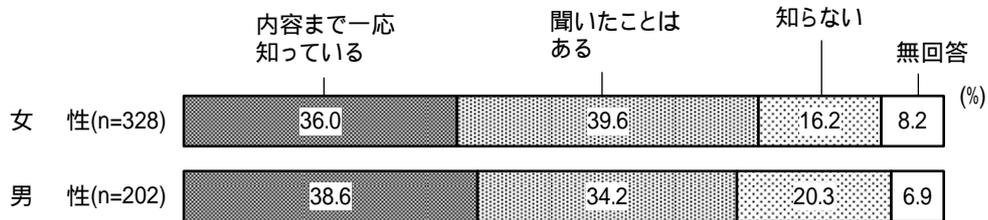


図表 - 6 - 3 - 『男女雇用機会均等法』の認知度（男性）



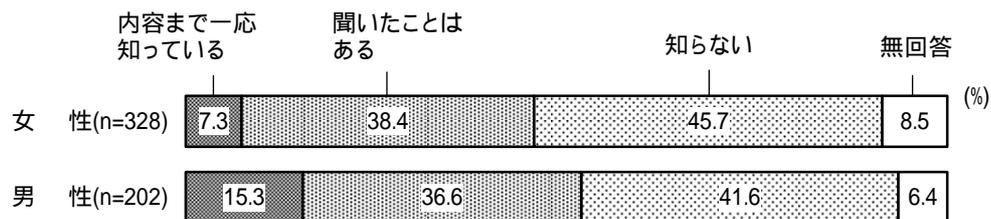
『育児・介護休業制度』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が75.6%、男性が72.8%となっており、女性が男性を2.8ポイント上回っている。(図表 - 6 - 3 -)

図表 - 6 - 3 - 『育児・介護休業制度』の認知度(性別)



『男女共同参画社会基本法』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が45.7%、男性が51.9%となっている。「内容まで一応知っている」は男性(15.3%)が女性(7.3%)を8.0ポイント上回り、《認知状況》は男性(51.9%)が女性(45.7%)を6.2ポイント上回っている。(図表 - 6 - 3 -)

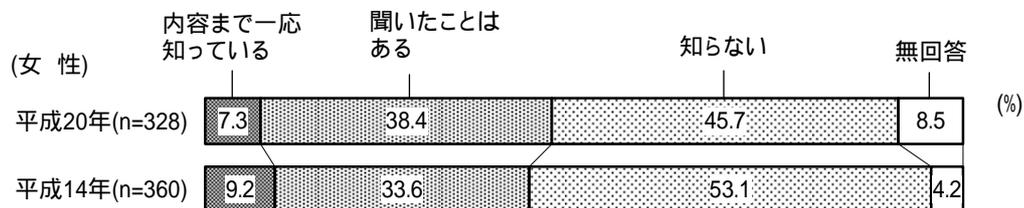
図表 - 6 - 3 - 『男女共同参画社会基本法』の認知度(性別)



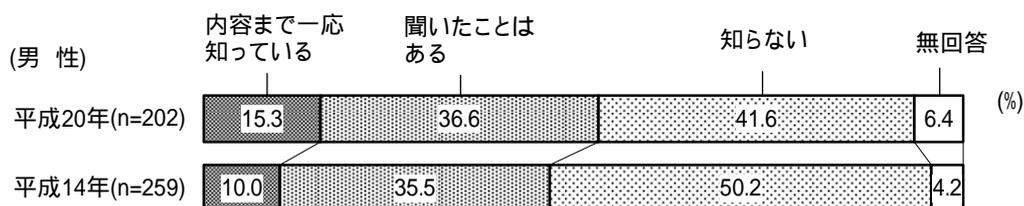
< 前回調査との比較 >

今回調査を平成14年調査と比較すると、男女ともに《認知状況》が高くなっている。今回調査の「聞いたことはある」は、平成14年調査では「名称くらいは知っている」である。

図表 - 6 - 3 - 『男女共同参画社会基本法』の認知度(女性)

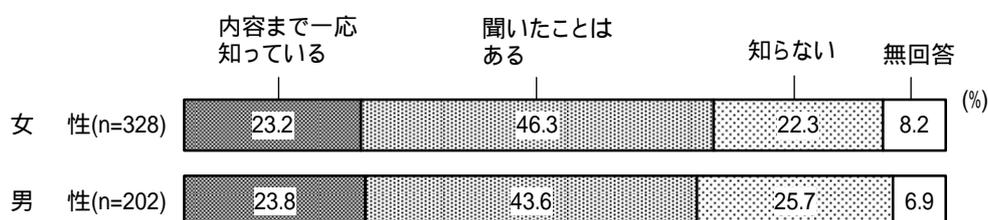


図表 - 6 - 3 - 『男女共同参画社会基本法』の認知度(男性)



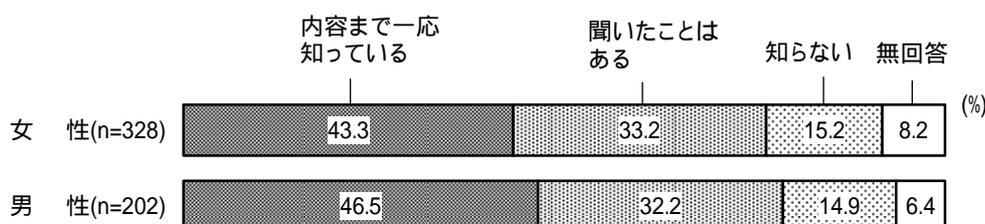
『配偶者暴力防止法(DV防止法)』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が69.5%、男性が67.4%となっており、《認知状況》に大きな差はない。(図表 - 6 3 -)

図表 - 6 - 3 - 『配偶者暴力防止法(DV防止法)』の認知度(性別)



『セクシュアル・ハラスメント』の認知度を性別にみると、《認知状況》は女性が76.5%、男性が78.7%となっており、《認知状況》に大きな差はない。(図表 - 6 3 -)

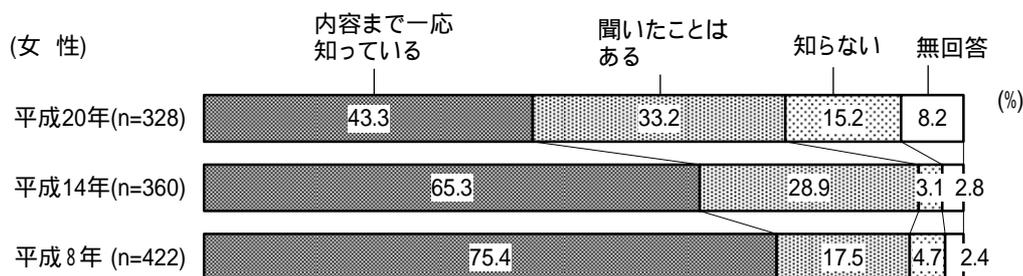
図表 - 6 - 3 - 『セクシュアル・ハラスメント』の認知度(性別)



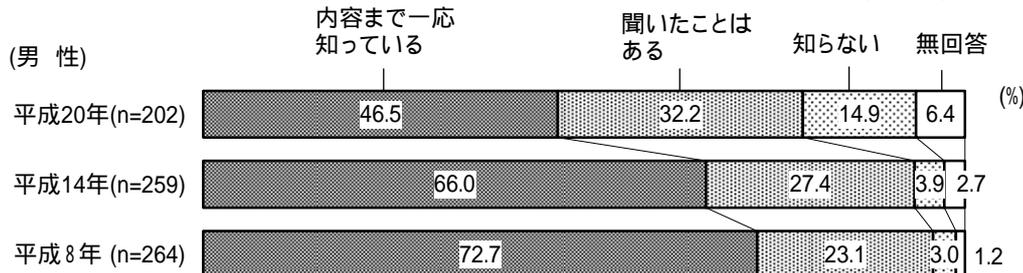
< 以前の調査との比較 >

今回調査を平成14年調査と比較すると、男女ともに《認知状況》が低くなっている。今回調査の「聞いたことはある」は、平成8年、平成14年調査では「名称くらいは知っている」である。

図表 - 6 - 3 - 『セクシュアル・ハラスメント』の認知度(女性)



図表 - 6 - 3 - 『セクシュアル・ハラスメント』の認知度(男性)



6 - 4 男女平等の意識を育てるために学校教育で必要な取り組み（問 25）

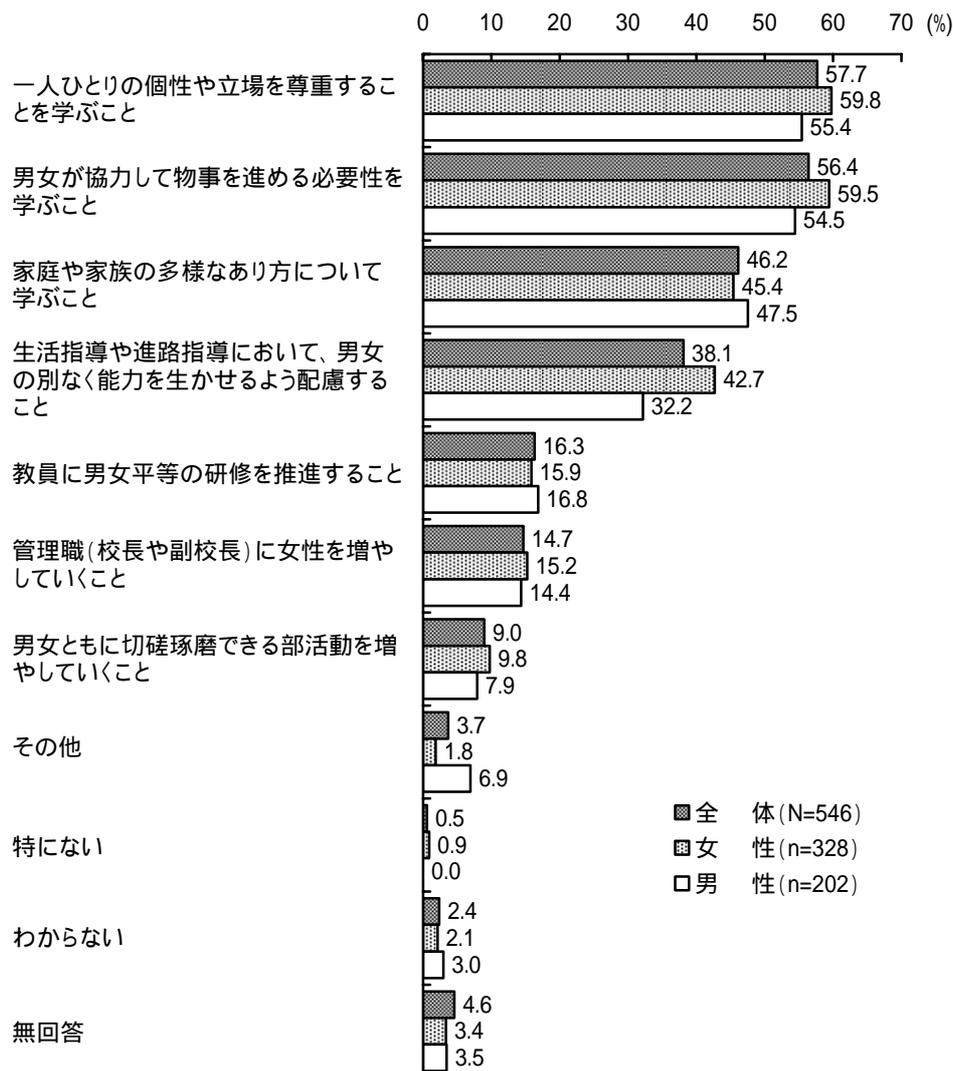
個性や立場の尊重、男女が協力して物事を進める必要性を学ぶことなどが求められている

男女平等の意識を育てるために学校教育で必要な取り組みをたずねた。

全体では、「一人ひとりの個性や立場を尊重することを学ぶこと（57.7%）」、「男女が協力して物事を進める必要性を学ぶこと（56.4%）」が半数を超える。次いで、「家庭や家族の多様なあり方について学ぶこと（46.2%）」、「生活指導や進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮すること（38.1%）」などとなっている。

性別にみると、男女ともに全体と上位7位は変わらない。男女で最も差がある項目は、「生活指導や進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮すること」であり、女性（42.7%）が男性（32.2%）を10.5ポイント上回っている。（図表 - 6 - 4 - ）

図表 - 6 - 4 - 男女平等の意識を育てるために学校教育で必要な取り組み
（全体、性別：複数回答（3つまで））



性・年代別にみると、女性の40代、50代、男性の20代では、「一人ひとりの個性や立場を尊重することを学ぶこと（女性の40代：75.4%、50代：69.4%、男性の20代：71.4%）」、女性の20代では「管理職（校長や副校長）に女性を増やしていくこと（30.6%）」、男性の20代では「家庭や家族の多様なあり方について学ぶこと（57.1%）」、男性の30代では「教員に男女平等の研修を推進すること（28.6%）」が、全体を10ポイント以上上回っている。

また、女性の40代以上、男性の50代では「生活指導や進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮すること」が4割を超えており、とくに女性の60代（56.3%）では全体（38.1%）を18.2ポイント上回っている。（図表 - 6 - 4 - ）

図表 - 6 - 4 - 男女平等の意識を育てるために学校教育で必要な取り組み
（全体、性・年代別：複数回答（3つまで））

		重一人ひとりの個性や立場を尊重すること	必要女性が協力して物事を進める	つ家庭や家族の多様なあり方について学ぶこと	せて生活指導や進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮すること	す教員に男女平等の研修を推進すること	性管理職（校長や副校長）に女性を増やしていくこと	活動を増やしていくこと	その他	特にな	わからない	無回答	
全	体 (N=546)	57.7	56.4	46.2	38.1	16.3	14.7	9.0	3.7	0.5	2.4	4.6	
性・年代別	女性	20代 (n= 36)	52.8	58.3	44.4	30.6	11.1	30.6	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0
		30代 (n= 67)	67.2	61.2	53.7	35.8	19.4	22.4	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0
		40代 (n= 57)	75.4	59.6	50.9	42.1	15.8	14.0	7.0	1.8	0.0	0.0	0.0
		50代 (n= 49)	69.4	59.2	38.8	44.9	14.3	10.2	16.3	2.0	2.0	0.0	4.1
		60代 (n= 64)	48.4	65.6	45.3	56.3	15.6	7.8	7.8	0.0	3.1	3.1	1.6
		70歳以上 (n= 55)	43.6	50.9	36.4	41.8	16.4	10.9	9.1	0.0	0.0	9.1	14.5
	男性	20代 (n= 14)	71.4	42.9	57.1	14.3	7.1	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0
		30代 (n= 35)	57.1	54.3	45.7	25.7	28.6	20.0	8.6	2.9	0.0	5.7	0.0
		40代 (n= 36)	44.4	61.1	47.2	33.3	16.7	22.2	2.8	16.7	0.0	0.0	5.6
		50代 (n= 33)	63.6	45.5	45.5	45.5	12.1	12.1	6.1	12.1	0.0	0.0	0.0
		60代 (n= 44)	54.5	63.6	50.0	36.4	18.2	9.1	13.6	2.3	0.0	0.0	2.3
		70歳以上 (n= 40)	52.5	50.0	45.0	27.5	12.5	7.5	5.0	2.5	0.0	10.0	10.0

6 - 5 男女共同参画社会を実現するために、市の施策として望むこと（問 26）

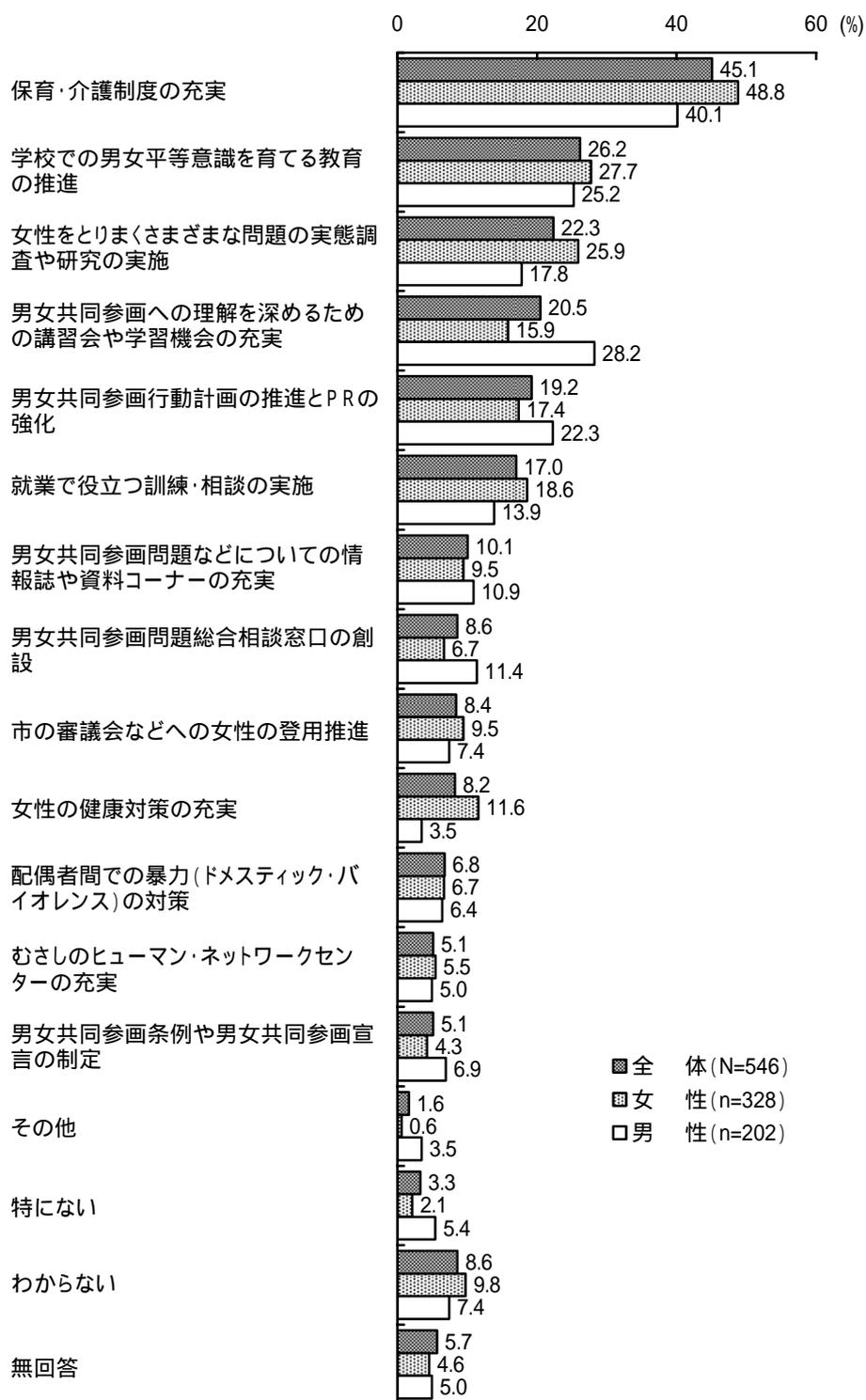
保育・介護制度の充実が4割を超え最も多い

男女共同参画社会を実現するために、市の施策として望むことをたずねた。

全体では、「保育・介護制度の充実（45.1%）」が4割を超え最も多い。その他、「学校での男女平等意識を育てる教育の推進（26.2%）」、「女性をとりまくさまざまな問題の実態調査や研究の実施（22.3%）」、「男女共同参画への理解を深めるための講習会や学習機会の充実（20.5%）」などが2割台となっている。

性別にみると、女性の上位3位は全体と変わらない。男性は「保育・介護制度の充実（40.1%）」が最も多いことは全体と変わらないが、「男女共同参画への理解を深めるための講習会や学習機会の充実（28.2%）」、「学校での男女平等意識を育てる教育の推進（25.2%）」が続いている。男女で最も差がある項目は、「男女共同参画への理解を深めるための講習会や学習機会の充実」であり、男性（28.2%）が女性（15.9%）を12.3ポイント上回っている。（図表 - 6 - 5 - ）

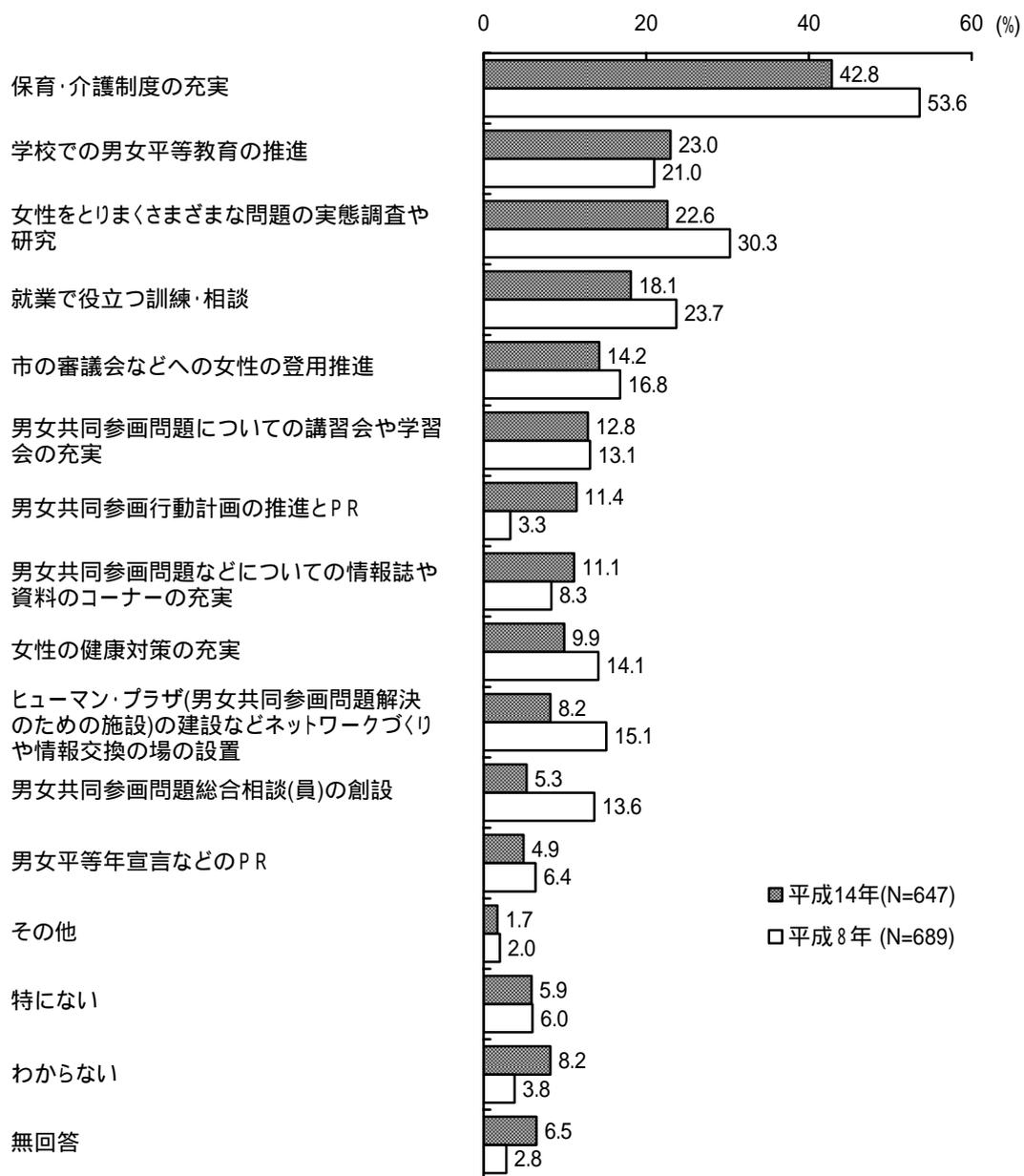
図表 - 6 - 5 - 男女共同参画社会を実現するために、市の施策として望むこと
(全体、性別：複数回答(3つまで))



<以前の調査との比較>

前回以前の調査と比較すると、今回調査は平成8年調査、平成14年調査から引き続き「保育・介護制度」が最も高くなっている。平成14年調査からは上位3位が同様の傾向である。平成8年調査、平成14年調査と今回調査は選択肢の多くが異なるため、今回調査は併記していない。

図表 - 6 - 5 - 男女共同参画問題解決のために、市の施策として望むこと
(全体：複数回答(3つまで))



性・年代別にみると、女性の20代、男性の30代では「保育・介護制度の充実（女性の20代：63.9%、男性の30代：60.0%）」、また女性の20代では「女性の健康対策の充実（22.2%）」、男性の20代では「市の審議会などへの女性の登用促進（28.6%）」、男性の40代では「男女共同参画行動計画の推進とPRの強化（38.9%）」、男性の60代では「男女共同参画問題などについての情報市や資料コーナーの充実（20.5%）」、男性の70歳以上では「男女共同参画問題総合相談窓口の創設（22.5%）」が全体を10ポイント以上上回っている。

また、男性の50代以上で「男女共同参画への理解を深めるための講習会や学習機会の充実」が3割を超え全体を10ポイント以上上回っており、とくに60代（43.2%）では全体（20.5%）を22.7ポイント上回っている。（図表 - 6 - 5 - ）

図表 - 6 - 5 - 男女共同参画社会を実現するために、市の施策として望むこと
（全体、性・年代別：複数回答（3つまで））

		保育・介護制度の充実	進学校での男女平等意識を育てる教育の推進	女性をとりまくさまざまな問題の実態調査や研究の実施	習会や学習機会の充実	男女共同参画への理解を深めるための講習会や学習機会の充実	男女共同参画行動計画の推進とPRの強化	就業で役立つ訓練・相談の実施	男女共同参画問題などについての情報誌や資料コーナーの充実	男女共同参画問題総合相談窓口の創設	市の審議会などへの女性の登用推進	女性の健康対策の充実	配偶者間での暴力（ドメスティック・バイトレンス）の対策	むさしのヒューマン・ネットワークセンターの充実	男女共同参画条例や宣言の制定	その他	特になし	わからない	無回答
全 体 (N=546)		45.1	26.2	22.3	20.5	19.2	17.0	10.1	8.6	8.4	8.2	6.8	5.1	5.1	1.6	3.3	8.6	5.7	
性・年代別	女性	20代 (n= 36)	63.9	27.8	25.0	16.7	16.7	13.9	5.6	2.8	11.1	22.2	11.1	2.8	2.8	0.0	0.0	5.6	0.0
		30代 (n= 67)	49.3	17.9	29.9	6.0	11.9	22.4	1.5	9.0	6.0	11.9	9.0	4.5	7.5	1.5	4.5	17.9	0.0
		40代 (n= 57)	52.6	35.1	28.1	17.5	21.1	26.3	10.5	5.3	8.8	8.8	8.8	3.5	7.0	0.0	3.5	3.5	0.0
		50代 (n= 49)	44.9	30.6	26.5	22.4	26.5	22.4	12.2	6.1	14.3	10.2	4.1	2.0	2.0	0.0	2.0	6.1	8.2
		60代 (n= 64)	46.9	34.4	23.4	18.8	17.2	12.5	15.6	7.8	12.5	9.4	7.8	12.5	3.1	0.0	0.0	9.4	3.1
		70歳以上 (n= 55)	40.0	21.8	21.8	16.4	12.7	12.7	10.9	7.3	5.5	10.9	0.0	5.5	1.8	1.8	1.8	12.7	16.4
		男性	20代 (n= 14)	42.9	14.3	21.4	7.1	7.1	14.3	14.3	7.1	28.6	7.1	14.3	0.0	7.1	7.1	14.3	7.1
	30代 (n= 35)		60.0	34.3	28.6	17.1	17.1	25.7	2.9	5.7	2.9	14.3	11.4	0.0	5.7	0.0	0.0	8.6	0.0
	40代 (n= 36)		30.6	16.7	19.4	19.4	38.9	11.1	2.8	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	13.9	5.6	8.3	8.3	5.6
	50代 (n= 33)		45.5	21.2	27.3	33.3	18.2	18.2	6.1	6.1	12.1	0.0	3.0	6.1	9.1	9.1	6.1	6.1	0.0
	60代 (n= 44)		43.2	29.5	6.8	43.2	27.3	13.6	20.5	13.6	4.5	2.3	4.5	6.8	4.5	2.3	2.3	4.5	4.5
	70歳以上 (n= 40)		22.5	27.5	10.0	32.5	15.0	2.5	17.5	22.5	10.0	0.0	2.5	5.0	2.5	0.0	7.5	10.0	15.0

6 - 6 むさしのヒューマン・ネットワークセンターに期待すること（問 27）

情報提供、交流・情報交換支援、総合相談窓口、男性向け講座の充実などが望まれている

むさしのヒューマン・ネットワークセンターに期待することをたずねた。

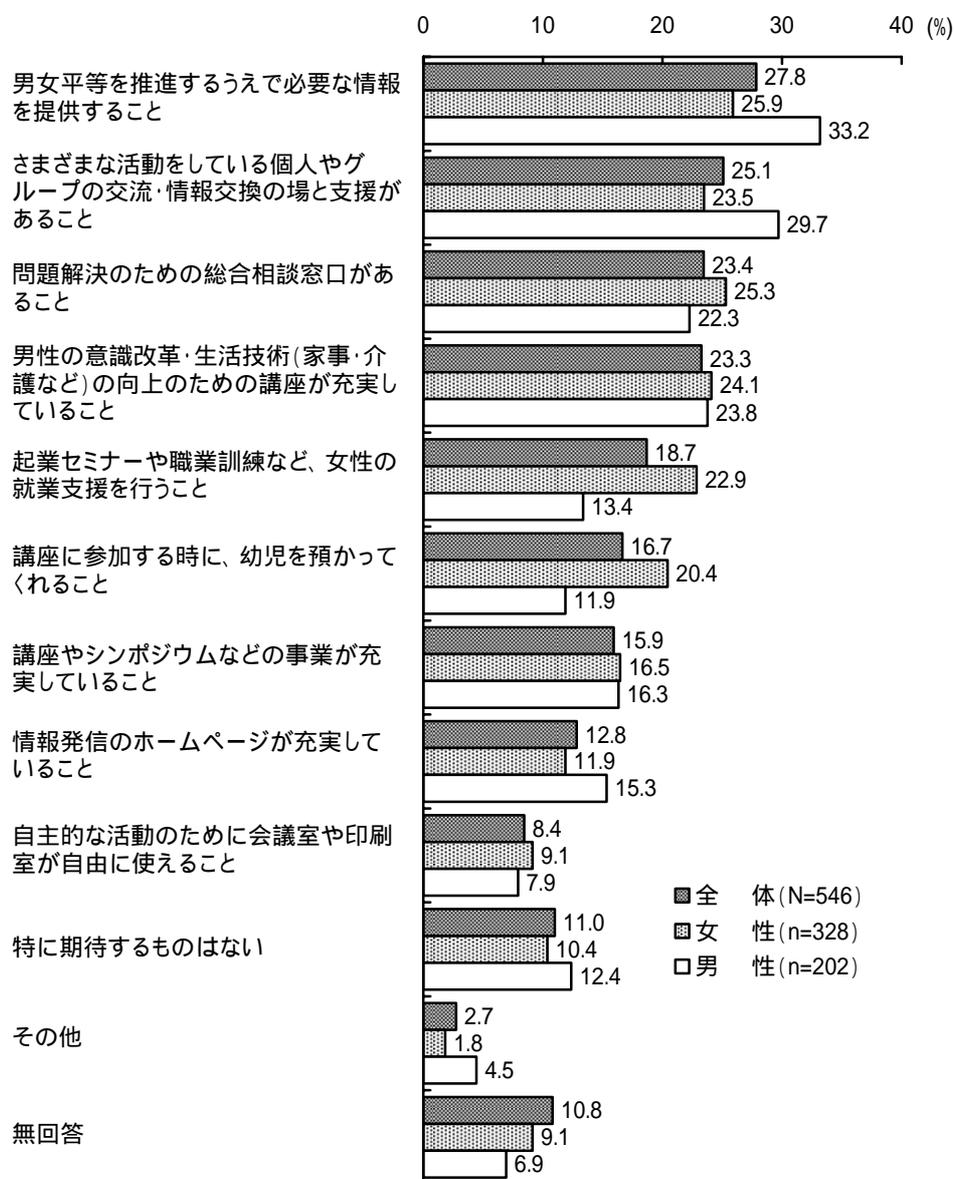
全体では、「男女平等を推進するうえで必要な情報を提供すること（27.8%）」が最も多く、「さまざまな活動をしている個人やグループの交流・情報交換の場と支援があること（25.1%）」、「問題解決のための総合相談窓口があること（23.4%）」、「男性の意識改革・生活技術（家事・介護など）の向上のための講座が充実していること（23.3%）」が続いている。

性別にみると、女性は「男女平等を推進するうえで必要な情報を提供すること（25.9%）」が最も多いことは全体と変わらないが、2位は「問題解決のための総合相談窓口があること（25.3%）」、3位は「男性の意識改革・生活技術（家事・介護など）の向上のための講座が充実していること（24.1%）」となっている。男性は上位2位は全体と変わらないが、3位は「男性の意識改革・生活技術（家事・介護など）の向上のための講座が充実していること（23.8%）」となっている。

女性が男性を 5.0 ポイント以上上回っている項目は、「起業セミナーや職業訓練など、女性の就業支援を行うこと（女性：22.9%、男性：13.4%）」、「講座に参加する時に、幼児を預かってくれること（女性：20.4%、男性：11.9%）」であり、女性が男性をそれぞれ 9.5 ポイント、8.5 ポイント上回っている。

また、男性が女性を 5.0 ポイント以上上回っている項目は、「男女平等を推進するうえで必要な情報を提供すること（女性：25.9%、男性：33.2%）」、「さまざまな活動をしている個人やグループの交流・情報交換の場と支援があること（女性：23.5%、男性：29.7%）」であり、男性が女性をそれぞれ 7.3 ポイント、6.2 ポイント上回っている。（図表 - 6 - 6 - ）

図表 - 6 - 6 - むさしのヒューマン・ネットワークセンターに期待すること
(全体、性別：複数回答(3つまで))

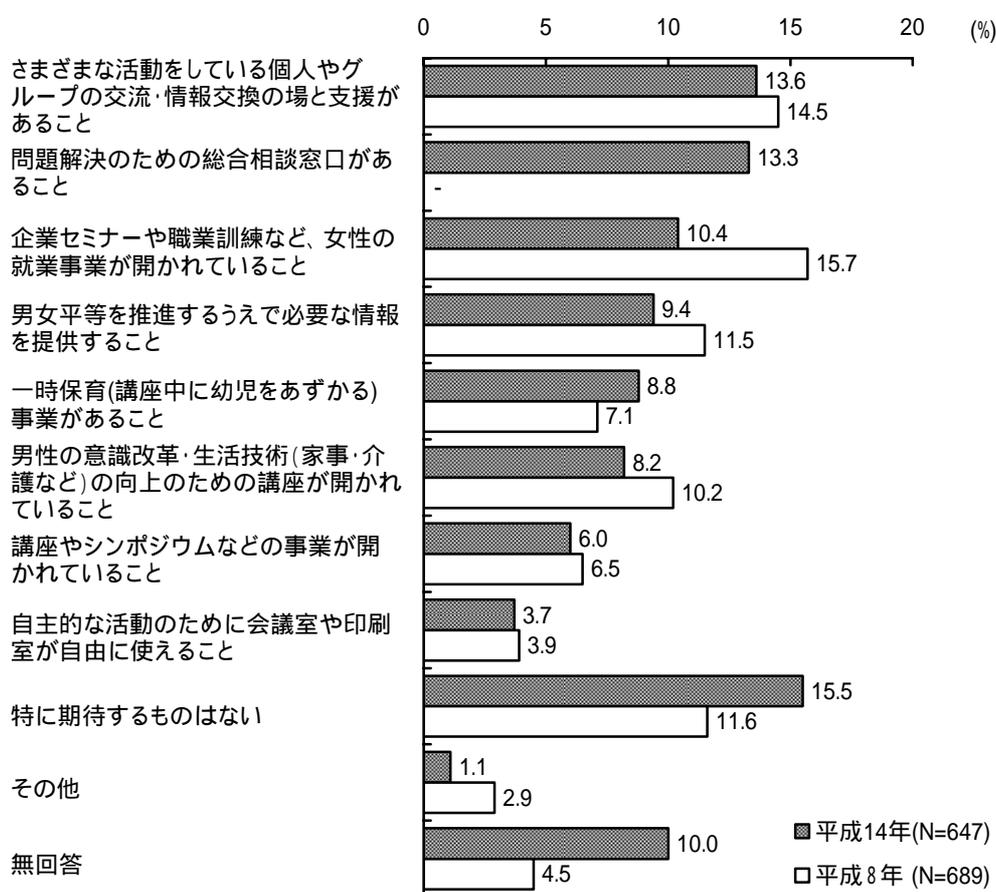


<以前の調査との比較>

前回以前の調査と比較すると、平成 14 年調査では今回調査で 2 位であった「さまざまな活動をしている個人やグループの交流・情報交換の場と支援があること」が最も多くなっている。今回調査で最も多かった「男女平等を推進するうえで必要な情報を提供すること」は第 4 位（9.4%）となっている。

平成 8 年調査、平成 14 年調査は単数回答（1 つに ）のため、今回調査は併記していない。

図表 - 6 - 6 - むさしのヒューマン・プラザに期待すること（全体）



性・年代別にみると、男女ともに 30 代では「講座に参加する時に、幼児を預かってくれること（女性の 30 代：40.3%、男性の 30 代：34.3%）」が最も多くなっており、全体を 10 ポイント以上上回っている。女性の 20 代、男性の 40 代では「男性の意識改革・生活技術（家事・介護など）の向上の講座が充実していること（女性の 20 代：36.1%、男性の 40 代：41.7%）」が最も多くなっており、全体を 10 ポイント以上上回っている。男性の 20 代では、「さまざまな活動をしている個人やグループの交流・情報交換の場と支援があること（42.9%）」が最も多く、全体を 10 ポイント以上上回っている。女性の 50 代、男性 50 代以上では「男女平等を推進するうえで必要な情報を提供すること」が最も多くなっており、とくに男性 70 歳以上（47.5%）で 5 割弱と高くなっている。

女性の 20 代から 40 代では「起業セミナーや職業訓練など、女性の就業支援を行うこと」が 3 割弱から 3 割台となっており、全体を 10 ポイント以上上回っている。女性の 40 代では「講座やシンポジウムなどの事業が充実していること（26.3%）」が全体（15.9%）を 10 ポイント以上上回っている。（図表 - 6 - 6 - ）

図表 - 6 - 6 - むさしのヒューマン・ネットワークセンターに期待すること
（全体、性・年代別：複数回答（3つまで））

		な男女情 情報等を 提供する こと	場やグル ープの交 流・情報 交換の場 と支援が あること	さまざま な活動し ていて報 告交換個 人の	が問題解 決のため の総合相 談窓口	が事・性 の意識改 革・生活 技術講座 （家	女性・起 業の就業 支援を行 うこと	か講座に 参加する 時に、幼 児を預	が講座や シンポジ ウムなど の事業	情報発信 のホーム ページが 充実	印刷室が 自由に使 えること	特に期待 するもの はない	その他	無回答
全	体 (N=546)	27.8	25.1	23.4	23.3	18.7	16.7	15.9	12.8	8.4	11.0	2.7	10.8	
性・年代別	女 性	20 代 (n= 36)	33.3	22.2	22.2	36.1	36.1	33.3	5.6	16.7	5.6	5.6	0.0	0.0
		30 代 (n= 67)	20.9	19.4	25.4	20.9	29.9	40.3	9.0	14.9	9.0	13.4	3.0	4.5
		40 代 (n= 57)	26.3	22.8	28.1	29.8	31.6	12.3	26.3	15.8	7.0	8.8	1.8	3.5
		50 代 (n= 49)	34.7	32.7	28.6	20.4	16.3	8.2	20.4	10.2	8.2	14.3	0.0	6.1
		60 代 (n= 64)	29.7	26.6	31.3	23.4	15.6	14.1	18.8	9.4	7.8	6.3	1.6	10.9
		70 歳以上 (n= 55)	14.5	18.2	14.5	18.2	10.9	14.5	16.4	5.5	16.4	12.7	3.6	27.3
	男 性	20 代 (n= 14)	21.4	42.9	35.7	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6	7.1	7.1	0.0
		30 代 (n= 35)	28.6	31.4	8.6	17.1	25.7	34.3	8.6	14.3	17.1	8.6	2.9	2.9
		40 代 (n= 36)	33.3	33.3	19.4	41.7	8.3	13.9	19.4	22.2	0.0	8.3	5.6	5.6
		50 代 (n= 33)	33.3	27.3	24.2	24.2	9.1	6.1	18.2	15.2	9.1	18.2	9.1	3.0
		60 代 (n= 44)	27.3	27.3	27.3	27.3	15.9	9.1	15.9	11.4	0.0	15.9	2.3	11.4
		70 歳以上 (n= 40)	47.5	25.0	25.0	7.5	7.5	2.5	25.0	10.0	7.5	12.5	2.5	12.5